

# 坂の上通信

令和三年一月二十日  
広島市立美鈴が丘高等学校  
新聞文化部(四〇三演習室)

# 行事の中止 続々

## 修学旅行も市総文も合唱祭も

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況だ。感染リスクを避けるため、行事が次々に中止に追い込まれている。

12月23日、終業式の日には2学年集会が開かれ、令和2年度修学旅行を中止するという説明が校長先生からなされ、同日に保護者向けのプリントも配付された。中止の理由は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け、旅行を安全に実施する見通しが立たなくなっ



中止となった修学旅行(写真は昨年度のもの)

## 学校の「顔」に インタビュー



今回は、1年6組担任で数学科の倉内先生にインタビューを行った。どうして数学の先生になろうと思ったのですか。

数学を解くのが好きだったからです。どんな高校生でしたか。ほぼ一年中、野球をしていました。休日は何をして過ごしていましたか。

趣味は何ですか。カープの応援。鈴木誠也選手が好きです。美高生へ一言お願いします。挨拶ができる大人になりましょう!

していますか。たいてい部活動をしてその後はアマゾンのプライムビデオを見たりしています。

## 新聞部も全国の舞台へ



美術部、書道部に続き、新聞文化部も8月に行われる全国高等学校総合文化祭(わかやま総文)に参加することが決まった。県の新聞コンクールにおいて優秀賞を受賞したため、同時に、新聞コンク

ルとしては最大級の全国高校新聞年間紙面審査賞においても初の奨励賞校として選出された。全国で入賞校は49校、奨励賞校は11校。広島県では、美校のほかに崇徳高校が入賞校として受賞している。

谷本君のコメント  
現在の新聞文化部は、1年生のみで活動しています。まだまだ未熟ですが、美鈴が丘高校の代表として多くの人の見てもらえるように頑張りたいと思います。

## 会場が使えず

に全力を注いでいきなさい。など、理解を示す声も聞かれた。

感染拡大を受けて、市でも様々な施設が当分の間使用を禁止している。各区の文化センター、スポーツセンター、博物館や美術館、図書館等が対象になっており、その中には今年度の市総文の会場になるはずだったJMSアステールプラザも含まれる。感染拡大とこの会場の問題により、12月下旬に市総文も中止が決定した。使用禁止期間は2月7日までの予定。2月の合唱コンクールも、飛沫感染を避けるため見送られる。



## 市総文中止 各部から「残念」の声

市総文中止について文化系部に話を聞いた。美術部部長の佐藤愛花さんは「今まで自分たちが頑張ってきた作品をみんなに見せる場が無くなったことが、とても悲しいです。次の県総体ポスターコンクールに向けて、前向きに頑張っていきたい」と話した。

吹奏楽部部長の久保朱音さんは「2年生にとって大きな舞台が一つ減ってしまいました。大切な大会が無くなったのは残念ですが、気持ちを切り替えて練習を続けていきます」と話した。

## トイレ 洋式率アップ

12月上旬から、主に女子トイレの洋式化工事が行われ、新たに10個程度の洋式トイレが設置された。工事は主にHR教室のある生徒棟で行われ、ドアも開きやすく取っ手が付いたものに変更。「引く」「押す」の表示もあり、従来よりも分かりやすくなっている。

トイレの洋式化は全国的に行われているが、全国の公立小中学校のトイレのうち、洋式は約57%。清潔さやバリアフリーの観点から洋式化を推奨しており、自治体への補助も進んでいる。



改修された女子トイレ

## 歌は世につれ



歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。

このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。今回は、国語科の大

アーティスト	RCサクセション
曲名	雨上がりの夜空に

会の大学生になるのはいい気分だ。夏の「野音」のコンサートはまだ明るい夕方に始まる。ビル街に大音響が響き渡る。と、雷鳴と大粒の雨。夕立だ。ステータスも客席も、誰も気にしない。歌い、跳ね、拳を突き上げる。突然雨はやみ、雲が切れる。見上げると夜空に、歌詞のままの「ジンライムのようなお月様」が見えた。

## 美・鈴・鈴・鈴

今号の記事にあるように、この冬、女子トイレの大幅改装工事が行われた。今回は、トイレの歴史について少し調べてみた。▼トイレの起源は縄文時代早期にまでさかのぼる。その頃はまた川に直接使用し「川屋」と呼ばれていた。トイレのことを「廁(かわや)」と呼ぶのはここから来ている。時代が下り、鎌倉時代以降に糞尿が肥料として使われるようになると、くみ取り式便所が普及。その後、明治時代の文明開化によって欧米化が進み、洋風の腰掛トイレや水洗式トイレが少しずつ広がっていった。しかし洋式トイレの出荷が和風便器の出荷を上回ったのは、70年代後半になってからである。▼TOTOがアメリカから特許を買取って国内開発を行った「ウォシュレット」の初代モデルは、12年に日本機械学会により「機械遺産」に認定された。▼不浄場とも呼ばれるトイレだが、毎日必ず足を運ぶ場所である。清掃担当に感謝しつつ、きれいに使いたいものだ。(川崎壮一郎)

## 編集後記

行事の中止が相次ぎ、学校生活に彩りがなくなるように残念です。